

予算審査特別委員会

第62号議案・平成20年度白石市一般会計補正予算(第2号)から第68号議案・平成20年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)までの計7議案については、定例会第3日目(9月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・山谷 清、副委員長・大野 栄光)で、9月11日に審査した結果、第62号議案は反対及び賛成の討論があり賛成多数で可決し、第63号議案から第68号議案までの計6議案については全会一致で可決しました。

審査の中で論議された主な点は次のとおりです。

建設産業所管

〔質疑〕工場用地の造成について、これまでのオーダーメイド方式から工業団地造成に転換されたが、その概要について伺いたい。

〔答弁〕昨今、県北に企業誘致が進んでいるが、当市においても何度か引き合いがあった。しかし、企業が求めているのは3ヘクタールから5ヘクタールの規模で、すぐに工

場建設ができるような土地であることから、既存の用地約1ヘクタール分しか保有していない当市は、何度か候補にはのぼったものの、既に工場用地が確保されている地域に素通りしてしまうということを、ここ半年、1年の間に経験してきた。

わいわいトークの中でも、市民の皆さんからもっと積極的に企業誘致を図って雇用の拡大を図るべきであるという意見をいただき、今、方針を転換し、企業誘致に動かない

ことには将来に禍根を残すのではないかという総合的な判断で、工業団地造成に踏み切ったものである。

〔質疑〕北白川駅前駐輪場整備工事について、工事の概要と、完成後の維持管理をどのように考えているか伺いたい

〔答弁〕駅舎と建物の間の鉄道用地約125㎡をJRから借り受け、整備するものである。

上屋はかけないで、構造物としては、アスファルト舗装を行い、自転車不倒れないように整然と並べられるような鉄骨製のラック70台分を設置する。



北白川駅前の状況

また、夜間利用者のため、照明装置も設置し、看板、そしてJR側の要望なども取り入れた結果、工事費として280万円ほど

となった。

管理については、地元自治会と一緒に行うよう今後詰めてまいりたい。

※利用者の半分以上が大河原町の住民であることから同町と協定を締結し、工事費等については、2分の1ずつの負担を行うものです。

教育民生所管

〔質疑〕備品購入費が小・中学校について計上されているがどのような教材を備え付けるのか伺いたい。

〔答弁〕教育振興費200万円については、白中のファンヒーター購入のため計上した。

また、小学校費と中学校費の備品購入費90万4千円と80万円については、理科教育振興費補助金で本年度については第一小学校をはじめ第二小学校、越河、大平、大鷹沢の5校で予定している。

中学校については、白石中学校、小原、東の3校分を計上した。

その内容は各学校で整理しており、小学校は振り子の実験機、気体検知観測機、実験

材料などで、中学校では、電気測定用具、化石標本等が要望されている。



小学校の理科室

総務財政所管

〔質疑〕賦課徴収費について白石市で65歳以上の方のうち、年金から住民税を天引きされる対象人数と税額について伺いたい。

〔答弁〕年金からの住民税の特別徴収は来年の10月から実施される。

その対象者は、約2千50人と把握しており、現在、65歳以上の人口が1万307人なので、19.9%と見ており、税額に関しては、概算で約5千900万円と試算している。